

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 社会（地理）

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名： 地理)

1.	調 査 研 究 の 経 過 及 び 内 容	<p><u>1. 調査観点別に見た、各調査用図書の特徴</u></p> <p>①取り扱い内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの見本本も学習指導要領に基づいた内容などを取り上げ、資料（写真やグラフ）が豊富で、見やすく、効果的に掲載されるなど各発行者の工夫が見られる。 ・主体的・対話的で深い学習の実現に資する学習については、各者とも学習の内容を大観できるような写真や資料を効果的に掲載し、1 単位時間の学習の視点を明示するなど、学習の見通しやまとめの学習活動において工夫されており、差異は見られない。 <p>②内容の構成・排列、分量について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各諸地域の取扱数に関して、世界の州と日本の地域に関して差異はないが、分量に関して世界では東書・教出・帝国とも同程度であり、日本に関しては教出・帝国・日文が同程度の取扱量であった。 ・内容の構成・排列については、各者ともに「世界各地の生活と環境」で地域ごとの自然や歴史などをとらえる学習の後に、「世界の諸地域」において地域的特色の学習を深めながら世界全体との関わりについて考察し、「日本の諸地域」においては地域区分ごとに地図・雨温図や産業に関するグラフ等の他地域との比較できる資料を掲載して系統的・発展的に学習できるような工夫がなされており、排列等に関する差異は見られない。 ・北海道に関する内容に関しては、領土領海等に関する取扱量については各者の差異は見られないが、北方領土をめぐる問題では歴史的に整理する等教出が丁寧であった。また、開拓の歴史やアイヌ民族に関しての取扱量、ウポポイなど現在の事象を扱うなど教出での北海道に係る内容は多く丁寧だった。 <p>③使用上の配慮等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の諸地域」における、北海道地方の扱いが教出・帝国で配当時間・分量ともに、丁寧に扱えるようになっている。 ・各者ともに単元の振り返りとしてまとめの活動を設定しており、既習事項の確認や見方・考え方と絡めた考察などができるように工夫されており、東書・教出・帝国では対話的な課題を提示している。 ・掲載されている地図・グラフ・写真が見やすく扱いやすく工夫されており、各者間で差は見られなかったが、東書では世界の州別に効果的な写真や地図を用い生徒の興味関心を高める単元の構成となっている。 <p><u>2. 調査研究の経過</u></p> <p>複数回、小委員会における調査研究を行い、各見本本の特徴などを調査研究した。</p>
2.	の 具 体 的 調 査 研 究 資 料	<p>1 教科書編集趣意書</p> <p>② 採択参考資料</p> <p>③ 学習指導要領解説</p> <p>④ その他 ()</p>
3.	意 見 等 少 数	<ul style="list-style-type: none"> ・教出では、「日本の諸地域」において北海道地方の漁業を扱っている。 ・各者とも炭鉱の扱いがほぼなくなっている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・701	新しい社会 地理
取 扱 内 容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、地球の姿を全体的に大観し国名の由来や国旗、国境、面積、人口などから地域構成をつかみ、世界全体から見た日本の位置や特色などについて関心を高める活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界の気候の特色を東京都の雨温図の違いから人々の生活の様子を考察したり、人々の生活と宗教の関わりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、文化や自然について興味を深めたり、アジア州では急速な発展に関する着目する点を定めるなど、州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、調査の見通しを示した上で、調査の基本と高知県高知市の例をもとに、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、地形や気候の特色と地域のちがいを理解して防災対策を意識したり、人口、エネルギー、産業等での日本の特色を理解し、地図や写真等から調べ、課題を考察する活動。 ・「日本の諸地域」において、7つの地方区分について地形・気候などの自然と歴史的文化・産業などの特色をとらえたり、北海道の自然と観光の学習課題に水産業も関連させて地域の課題を理解したり、考察する活動。 ・「地域の在り方」において、宮崎県宮崎市を例に、身近な地域の課題を調べて解決のために他の地域の事例を調べ、参考にする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習課題が明記され、それに沿った振り返りが示されているとともに、節の初めに、その節の学習の内容を大観できるような写真や地図が掲載され学習の見通しが持てるような工夫がされており、北海道地方のまとめの学習においては、観光の企画にする活動を通して、グループで交流して発表し合い、多様な意見に触れて、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
排 列 内 容 ・ の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、節の初めに、その節の学習の内容を大観できるような写真や地図が掲載され、学習の見通しが持てるような工夫がされ、「日本の諸地域」においては、地域区分ごとに地図・3地区の雨温図・人口等の他地域との比較できる資料を掲載して、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 北海道に関わる記載に関しては4項目の取り扱いとなっている。また、釧路に関係の深い濃霧の発生に関しての地図記載があったり、節のまとめのページが個人やグループでの調べ学習など、課題を追究したり解決したりする形になっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 巻末の統計・資料が世界の国々や日本の都道府県の概要を知る上で見やすく、効果的に活用できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の振り返りとして、まとめの活動が設定されており、学習内容を広げて発展させていける取り組みができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやフォントを活用したり、巻末に事項と地名のさくいんを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・702	中学校 地理 地域に学ぶ
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、身近なものや球体としての地球から地域構成を大観したり、国旗や国境等から世界を把握したり、世界における位置などから世界の国や我が国に関する関心を高める活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、気候帯の分布と人々の生活に着目して、衣食住等人々の生活の様子を考察したり、世界の民族、言語、宗教と社会とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、都市における経済の変化や文化などから興味を深めたり、アジア州では世界とのつながりや経済成長の視点から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、鳥の目・虫の目等調査の視点を示した上で調査の見通しの立て方を示し、愛知県名古屋市について調査を例に適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、気候や地形などを資料で確認して自然的な特色をとらえ、産業や人口の分布地図や人口ピラミッドなどの資料から日本の抱えている問題や課題について考察していく活動 ・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し地域ごとの気候や地形等の自然環境、産業、人口、文化の歴史的背景などの地域的特色を捉えたり、北海道地方においては自然、歴史的な文化、農業、漁業、観光産業について主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、7つの地方での課題をふり返り、地域の課題について考察したり、地域の在り方を主体的に考えていく活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、1単位時間の学習内容を振り返る視点が示され、節の初めにはその節の学習の内容を大観できるような写真を掲載し学習の見通しが持てるような工夫がされている。北海道地方の課題考察においては、アイヌ民族の文化を題材に多文化・多民族の共生の実現を「持続可能な社会」の視点で考え、アイヌ民族の歴史と現状をふまえて、意見を交換する学習活動が取り上げられている。</p>		
排 列 内 容 の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、節の初めに、その学習の内容を大観できるような写真が掲載され、学習の見通しが持てるような工夫がされ、「日本の地域的特色と地域区分」で自然や災害・人口やエネルギー・産業と交通網などについて日本の特色と課題を考察した後に「日本の諸地域」の学習で考えや理解を深めながら発展させていくように工夫がなされている。</p> <p>○ 北海道に関わる記載に関しては5項目の取り扱いとなっており、開拓の歴史に関して丁寧に取り扱っている。また、アイヌ民族の学習に関わり、多文化・多民族の共生の実現を「持続可能な社会」の視点から、考えや理解を深めながら発展させていくように工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「日本の地域構成」の領土に関わって、わが国が主張する根拠と現状がわかりやすく掲載されている。特に北方領土については、これまでの経緯が詳細に掲載され工夫されている。</p> <p>○ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」において、節の始めに地図と雨温図等の資料を掲載し、その地域の位置や国名、自然環境を確認することができるように工夫されている。</p> <p>○ 世界や日本のあらましに関する資料が見やすく、ユニバーサルデザインやグラビア使用ページなどすべての生徒の学びを支援したり、小学校からのつながりを意識した内容・構成になっているなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・703	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、料理や文化・スポーツなどを通して人口や面積など世界を大観したり、時差や距離から我が国の世界での位置などを把握する等、世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界の様々な気候から人々の生活について考察したり、衣食住の変化や宗教とのかかわりなどから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、文化や地球的課題について興味を深めたり、アジア州においては自然や経済など現代の事象を活用して州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、調査を4段階に分けそれぞれの視点を示し、東京都練馬区の例をもとに、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、日本の地形や気候区分ごとの特色をとらえ、自然災害との関係を主題に考察したり、地図や写真等から調べて日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、7つの地方区分について、地形・気候などの自然と産業・文化などの地域的特色を捉えたり、「北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろう」という主題も設けて地域の産業とその課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、「持続可能な社会」の観点から、身近な地域の課題を調べたり、地域の課題の解決に向けて考え、主体的に社会の形成に参画する態度を身に付けたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、節の初めにその学習の内容を大観できるような写真が掲載され、学習の見通しが持てるような工夫がされている。また、1単位時間の学習課題の提示により学習の見通しを持てるようにし、振り返りの学習の中で、「持続可能な社会へ向けて」の課題などをグループで交流したり、「私たちとの関わり」について考えを深める活動が取り入れられている。</p>		
排 列 内 容 の 分 構 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、節の初めに、その節の学習の内容を大観できるような写真が掲載され、学習の見通しが持てるような工夫がされ、「世界各地の生活と環境」で地域ごとの自然や歴史などをとらえる学習の後に、「世界の諸地域」において、地域的特色の学習を深めながら、世界全体との関わりについて考察を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 北海道に関わる記載に関しては5項目の取り扱いとなっている。また、北海道の農業について丁寧な扱いで、特に稲作についての学習を深める活動になっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 日本の領域に関して、北方領土・竹島・尖閣諸島の写真や地図等それらに関わる資料が、視覚に訴え理解しやすくなるよう工夫されていたり、地図帳と連携した学習活動が取り入れられるなど、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>○ 本文中にある用語の解説が、非常にわかりやすく記載されている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやフォントを活用したり、地域の姿が見える親しみやすいイラスト地図を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ 他 の	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・704	中学社会 地理的分野
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域構成」において、国名や位置と絡めた世界の人口・面積などや地球儀と地図の比較から地域構成を大観したり、世界から見た日本の観点から、世界の国や地域について関心を高めたりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活と気候の違いや地形を関連させ、言語・宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、地域同士のつながりや地域の変化について興味を深めたり、アジア州においては諸地域における生活や経済の変化から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、調査の手順を示すとともに手順ごとの視点を明示しながら、京都市伏見区での調査をもとに、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」においては、地形や気候の特色と地域による違いを理解して防災対策などを意識していくことや、人口、エネルギー、産業等での日本の特色を理解し、課題を考察したりする活動 ・「日本の諸地域」において、7つの地方区分について地形・気候などの自然と文化・産業などの特色をとらえたり、北海道地方の自然環境の視点から主題を設けて地域の特色や課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、京都市の町づくりをもとに日本全体の課題が身近な地域ではどのような現象としてあらわれているかを調査・考察し、課題の解決へ向けた構想をまとめたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、節の初めにその学習の内容を大観できるような写真を掲載した上で1単位時間の学習課題の提示により学習の見通しを持てるように構成され、振り返りの視点を「確認」で明確に示している。また、地域の在り方の単元において、地域の課題を解決するための構想をまとめ、地域のあり方について考える話し合いによる交流や検討を行う学習活動が取り上げられている。</p>		
排 列 内 容 の 分 構 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、節の初めに、その節の学習の内容を大観できるような写真が掲載され、学習の見通しが持てるような工夫がされ、「日本の地域的特色と地域区分」で自然・災害・人口・エネルギー・産業・交通網などについて日本の特色と課題を考察した後に、「日本の諸地域」の学習で考えや理解を深めながら発展させていくように工夫がなされている。</p> <p>○ 北海道に関わる記載に関しては5項目の取り扱いとなっている。また、「日本の地域構成」の北方領土に関する写真は羅臼町から見た国後島の写真が掲載されており、非常に位置的にも近く、我が国固有の領土であるという実感をもたせる上で効果的な工夫がなされている。観光に関しても全道規模の視点で深める活動になっているなど工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 1単位時間の学習課題の提示により学習の見通しを持てるようにし、振り返りの視点を「確認」で明確に示している。</p> <p>○ 「日本の諸地域」において、北海道地方では、小単元ごとに自然環境の特色に関連させて課題を設定して、生活・農業・観光などについて、関心を高めて学習活動に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやフォントを活用したり、各単元別の単元カラーインデックスを活用するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
他 そ の	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			